2024（令和６）年度事業報告書

自：2024（令和６）年４月１日　至：2025（令和７）年３月31日

公益事業１、写真文化の振興事業

（１）小学生を対象とした「写真学習プログラム」を全国の小学校20校で講師12名、参加児童数404名で実施した。このプログラムは、児童たちの興味や関心事に目を向け児童と共に体験を通して学ぶ、「体験、参加型」の学習並びに指導で、写真という優れた記録媒体を使っての「記録・表現することの意味」を理解し、家庭や社会で広く写真を活用してもらおうとの願いがある。(2005年の開始時より20年間の累計780校25,997名)。富士フイルムイメージングシステムズ㈱、ウエスタンデジタル合同会社、㈱ケンコー・トキナー、リコーイメージング㈱の４社の協力で行っている。

　この児童たちの作品を多くの方々に見ていただこうと、富士フイルム㈱・富士フイルムイメージングシステムズ㈱が主催する「“PHOTO IS”想いをつなぐ。あなたが主役の写真展2024」での特別企画「“PHOTO IS”小学生の眼」へ参加児童の作品を毎年展示している。2024年度も240点を８月～12月まで東京、名古屋、大阪の会場及びオンラインで展示した。

（２）６歳以上の子どもとその家族を対象とした「おやこ写真教室」を６月９日(日)福島県浪江町で開催し、９組18名が参加した。この事業には、(公財) 上廣倫理財団の協力により、助成金を充てており、Nextorage㈱から協力を得ている。

（３）(一社)日本学生写真部連盟(FUPC)の大学生向けコラボイベント「夢を叶えた写真家たち～進路に悩む学生たちへ～」を12月22日(日)青山・NineGalleryにて開催。参加数25名。

（４）技術研究会を３回開催した。
①第１回技術研究会「ひと味違う､こだわりの作品プリント～フレスコジクレーとプラチナパラジウムプリントで、美しい作品を長期保存～」を６月21日(金) JCIIビル６階会議室で開催。講師は髙村達(正会員)。㈱堀内カラー、㈱トクヤマ、㈱FLトクヤマ、三菱王子紙販売㈱からも登壇いただいた。参加数44名。
②第２回技術研究会「空撮　航空機から撮る鉄道の世界」を２月14日(金) JCIIビル６階会議室及びオンラインで開催。講師は吉永陽一(正会員)で42名が参加した。
③第３回技術研究会「写真集の制作とその魅力について」を３月27日(木)JCIIビル６階会議室及びオンラインで開催。講師は金川功(編集者)と片村昇一（(株)日本写真企画）で49名が参加した。

（５）第49回2024JPS展を開催した。
公募受付：2023年11月10日(金)～2024年1月15日(月)、**審査**：2024年1月30日(火)、**審査員**：熊切大輔会長（審査員長)、喜多規子(正会員)、広田尚敬(正会員)、前川貴行(正会員)、村上仁一（雑誌『写真』編集長)、**共催**：東京都写真美術館、**後援**：文化庁他、**総展示数**：534枚（公募238名434枚、会員作品63名85枚、ヤングアイ11校11枚、審査員作品４名４枚)、**応募総数**：1,720名、5,223枚（一般：1,506名、4,798枚、18歳以下：214名、425枚)、**入賞・入選者総数**：238名、434枚（一般：196名、358枚、18歳以下：42名、76枚)、**文部科学大臣賞**：日野昭雄「時化の日」単写真 モノクロ

展覧会　第49回2024JPS展　総入場数：4,799名
【東京展】会場：東京都写真美術館B1F展示室、会期：５月18日(土)～26日(日)、入場数：3,482名
【関西展】会場：京都市美術館別館 2F、　　会期：６月18日(火)～23日(日)、入場数：1,317名
協力：キヤノンマーケティングジャパン㈱、ソニー㈱、パナソニック㈱
『2024JPS展図録』を製作、販売した。

（６）「2024年新入会員展－私の仕事」を開催した。展示29名58枚
【東京展】会場：アイデムフォトギャラリー「シリウス」、会期：７月11日(木)～17日(水)、入場数：748名
【大阪展】会場：富士フイルムフォトサロン大阪、　　会期：９月６日(金)～12日(木)、入場数：3,523名

（７）「第18回JPSフォトフォーラム」を開催した。
「記録、伝える、その先に見えるもの―ある大地の物語」を11月９日(土) 東京都写真美術館１階ホールで開催。午前と午後の２回講演とし、合計188名が参加した。また、YouTubeによるライブ配信を行った。
講演：中条望(正会員)、小山幸佑(正会員)、齊藤小弥太(正会員)
パネルディスカッション：中条望、小山幸佑、齊藤小弥太、司会進行：清水哲朗(正会員)
協賛：ＯＭデジタルソリューションズ㈱、キヤノンマーケティングジャパン㈱、㈱シグマ､㈱タムロン､㈱ニコンイメージングジャパン､富士フイルムイメージングシステムズ㈱

（８）日本写真家協会賞を贈呈した。
写真文化への貢献に対する顕彰として、第50回「日本写真家協会賞」をライカカメラジャパン株式会社に贈り、贈呈式を12月11日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。
贈呈理由：「ライカＡ型を1925年に発売以来、ライカカメラは世界の写真文化発展に寄与し続けている。ライカが生まれなければ、写真の歴史は違ったものとなったであろうとも言われている。伝統あるフィルムカメラを作り続けながら、最新のデジタルカメラ開発にも挑戦して、フィルム、デジタル、インスタントカメラを発売する唯一無二のカメラメーカーとなっている。ライカカメラジャパンは多くの直営店による独自のカメラ販売方式を行い、ギャラリーも多数展開して国内外の写真家を紹介している。カメラと写真の両方で我が国の写真文化発展に貢献していることに対して」

（９）2024年第19回「名取洋之助写真賞」の公募を行った。
公募：新進写真家の発掘と活動を奨励するため、40歳までの新進写真家を対象に、同一テーマの作品(プリント)30点を提出。プロ写真家から在学中の大学生まで、21名21作品の応募があった。選考委員は山田健太(専修大学教授)、清水哲朗(正会員)、熊切大輔会長の３名。
受賞者：「名取洋之助写真賞」藤原昇平「東京オアシス」(カラー30点)。「名取洋之助写真賞奨励賞」星野藍「赤き星が落ちた世界 ソビエト連邦崩壊の残響」(カラー30点)。授賞式を12月11日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。
受賞作品写真展：東京展　2025年１月17日(金)～23日(木)、　　富士フイルムフォトサロン東京、入場数6,535名。
大阪展　2025年２月28日(金)～３月６日(木)、 富士フイルムフォトサロン大阪、入場数3,129名。

(10) 第７回「笹本恒子写真賞」受賞者を選出した。
選考：有識者の推薦による候補者20名から、選考委員 佐伯剛(『風の旅人』編集長)、野町和嘉前会長、熊切大輔会長の３氏により選考を行った。
受賞者：遠藤励。授賞式を12月11日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。
受賞理由：「グリーンランドの奥地に住む先住民を訪ね、撮影を続けるその行動力と圧倒的な表現力で撮影された写真をまとめた大型の写真集など、熱量を強く感じさせる作家活動に対して」
受賞記念展：遠藤励写真展「MIAGGOORTOQ（ミアゴート）」　2024年12月19日(木)～25日(水)、アイデムフォトギャラリー「シリウス」、入場数529名。

公益事業２、写真文化の啓発事業

（１）専修大学ジャーナリズム学科「フォト・ジャーナリズム論」に榎並悦子、野田雅也の会員２名を派遣した。この講座は、学生たちの真実を見抜く目を育て、批評力と行動力を養うことを目的とし、メディアの第一線で活躍する写真家や実務者に実作と体験談をもとに、いまメディアの現場で、何が起きているかを理解してもらうことを目的として平成23年度に開設され、当協会は講師派遣を委託されている。

（２）文化庁委嘱事業「文化関係資料のアーカイブ構築に関する調査研究」
2024年度の収集・調査を行った写真家と原板資料受け入れ状況は、白川義員18,098点、広島平和記念資料館１点（累計受入数377,672点)。国立映画アーカイブ相模原分館フィルム保存庫への写真原板の入庫作業は2024年6月20日、10月17日、2024年2月20日の計３回行い、計21,711点を収めた。写真原板の入庫内容は、写真協会17,962点、杉村恒2,016点、若目田幸平357点、打田浩一1,375点、広島平和記念資料館１点の合計３名２団体21,711点（累計193,515点）。写真原板データベース（閲覧DB）に525コマの原板情報を追加し、公開原板数は合計24,454コマとなった。
2014年度から発足した日本写真保存センターの作業に係る費用を支援いただくための支援組織は、会員数11社１団体。㈱アイデム、エプソン販売㈱、㈱カメラのキタムラ、キヤノン㈱、㈱シグマ、㈱写真弘社、㈱タムロン、TOPPAN㈱、㈱ニコン、富士フイルムイメージングシステムズ㈱、㈱フレームマン、(一社)日本写真著作権協会。

日本写真保存センターセミナー①「後世に伝えるフィルムデジタライズとフィルム保存」を10月11日(金)JCIIビル６階会議室及びオンラインで開催。講師は髙村達(正会員)、野田知明(正会員)、参加数79名。②「そのレタッチ大丈夫？～歴史を捉えた写真仕上げと公表時の法と倫理～」2025年２月12日(水)JCIIビル６階会議室及びオンラインで開催。講師は野田知明(正会員)、吉川信之(正会員)、参加数55名。

（３）写真に関する著作権の普及、啓発事業
①著作権セミナー「第３回知っておきたい写真著作権＆肖像権セミナー」を東京と京都で開催した。５月19日(日)東京都写真美術館１Fホール、講師：吉川信之(正会員)、棚井文雄(JPCA常務理事)。参加数のべ172名。
６月15日(土)京都市勧業館「みやこめっせ」B1F大会議室、講師：吉川信之(正会員)、棚井文雄(JPCA常務理事)。参加数91名。
②著作権セミナー「第４回知っておきたい写真著作権＆肖像権セミナー」を名古屋で開催した。７月６日(土)電気文化会館イベントホール、講師：髙村達(正会員)、棚井文雄(JPCA常務理事)。参加数70名。
③KYOTOGRAPHIE共催セミナー「人を撮ること、人が写ること　著作権と肖像権を考える」を４月27日(土)、京都市・八竹庵（旧川崎家住宅）で開催した。講師：吉川信之(正会員)、参加数：62名。
④著作権に関する「JPS写真著作権相談室」を開催。メール等による相談件数は17件（内、会員５件)。
⑤会報著作権研究　連載57「デジタル時代の著作者名表示を考える」吉川信之(著作権担当理事)。連載58「写真著作権と生成AI画像の現状を考える」吉川信之(著作権担当理事)。
⑥Web上での写真著作権の問題点を研究した。

⑦著作権の情報収集と公表を行った。
⑧日本写真著作権協会（JPCA）との写真著作権に関わる事業協力を行った。

（４）『日本写真家協会会報』を年２回、182号、183号を発行した。
182号・展望「アフターコロナのフォトフェス事情」、新・声のライブラリー松本徳彦さん、JPS2024年新入会員展「私の仕事」など。
183号・焦点「阪神・淡路大震災」から30年　写真と災害報道をふりかえって、新・声のライブラリー木村惠一さん、第19回「名取洋之助写真賞」、第7回「笹本恒子写真賞」受賞者決まる、第18回JPSフォトフォーラム「記録、伝える、その先に見えるもの―ある大地の物語」など。

（５）インターネット、ホームページ、フェイスブックを利用したサービス業務。日々の更新、内容の見直しと変更及び修正。協会事業の公開など。EC（エレクトロニック・コマース）サイトの運営。写真豆知識「ミラーレス時代の高倍率ズームレンズ　その実力と魅力を聞いて＆撮ってみた」をホームページで公開。

（６）写真に関する国際交流事業
協会ホームページ上で「表現者たち」を継続中。
Vol.16「私の中の宇宙　“My Private Universe”」クリスチャン リヒテンベルグ Christian Lichtenberg
Vol.17「中庸を目指した写真家・齋藤康一」齋藤康一

（収益事業）

収１事業、書籍、物品の販売事業

（１）「JPS腕章」とPRESSステッカーの製作及び販売をした。
（２）海外プレスカードの発行をした。

（その他の事業　共益事業等）

他１事業、ニュース、名簿の製作発行事業

（１）『JPSニュース』を年６回（No.608～613）発行した。
（２）JPSニュース電子版を年10回発行した。
（２）『会員名簿2024』増補版を2024年５月に発行した。

他２事業、祝賀会の事業

（１）2024年度の会員相互祝賀会を12月11日(水)、アルカディア市ヶ谷で開催した。

管理部門事業

（１）セミナー、勉強会の開催
①「ハラスメント勉強会」を8月5日(月)JCIIビル6階会議室及びオンラインで開催。講師：国奥真奈美（Rプランツ㈱代表取締役社長）参加者26名。
②関西地区委員会技術研究会「解説！レンズメーカー各社ミラーレス用新製品セミナー」を9月9日(月)大阪産業創造館で開催。講師：田原栄一（㈱ケンコー・トキナー)、桑山輝明（㈱シグマ)、西角久美子（㈱タムロン)、参加数45名。
③関西地区委員会セミナー「『写真集制作の舞台裏・編集者から写真家へ』赤々舎・姫野希美氏による講演会」を10月26日(土)大阪産業創造館及びオンラインで開催。講師：姫野希美（(株)赤々舎代表)、参加数55名。
④関西地区委員会オンラインセミナー「写真家のための経営学　知っていますか!?フリーランス新法」セミナーを11月18日(月)オンラインで開催。講師：三木賢（弁護士)、参加数57名。
⑤「写真家のための経営学～『公的制度を利用して賢く経営を！』セミナー」を2025年3月24日(月)オンラインで開催した。講師：炭多夏葵、菅 智毅(西宮商工会議所・経営指導員)、参加数37名。

（２）「全国会長行脚」の開催。熊切会長、山口副会長
第３回中国地区、４月４日(木)広島県・コジマホールディングス西区民文化センターで開催、参加数14名。
第４回九州・沖縄地区、６月６日(木)福岡県・福岡県中小企業振興センターで開催、参加数12名。
第５回東北地区、８月９日(金)宮城県・せんだいメディアテークで開催、参加数７名。
第６回北海道地区、８月28日(水)北海道・北海道クリスチャンセンターで開催、参加数11名。
第７回四国地区、12月12日(木)徳島県・とくぎんトモニプラザで開催、参加数10名。
第８回北陸地区、３月24日(月)新潟県・スペースコンフォートで開催、参加数７名。

事業報告書の付属明細書について

この事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第３項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成いたしません。